

2022年12月1日

大和ハウス工業株式会社
株式会社日立物流

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所

**2024年問題に向けた課題解決へ
ロジスティクスデータ活用コンテスト
「大和ハウス工業 スマートロジスティクス オープンデータチャレンジ」を開催**

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：芳井 敬一）と、株式会社日立物流（本社：東京都中央区、代表執行役社長：高木 宏明）と、YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所（所在地：東京都品川区、所長：坂村 健・東洋大学情報連携学部 INIAD 学部長）の3社は、2022年12月9日より、ロジスティクスデータ活用コンテスト「大和ハウス工業 スマートロジスティクス オープンデータチャレンジ」を開催します。

本コンテストでは、日立物流の安全運行管理ソリューション「SSCV-Safety」から得られる実際のトラックの運行データをオープンデータ化し、その有効利用方法を競っていただきます。AIをはじめとしたデジタル技術を用いた新たなサービスやアプリケーションの提案を、国内外を問わず一般の方から広く募集します。

大和ハウスグループでは、これまで実在する物流施設の実績データを使用したコンテストを2014年より3回にわたり開催しており、今回が4回目となります。物流業界では、人手不足や長時間労働といった課題を抱えており、さらには2024年問題と呼ばれる、トラックドライバーの労働時間の上限規制に伴う新たな問題の発生も懸念されています。本コンテストを通じて、大和ハウス工業と日立物流がめざす「スマートで安全な物流」を、開発者の皆様と共に、デジタル技術を活用して実現したいと考えています。

【「大和ハウス工業 スマートロジスティクス オープンデータチャレンジ」開催概要】

| | |
|--------|--|
| スケジュール | 応募期間 2022年12月9日(金)～2023年6月30日(金) 表彰式 2023年8月予定 |
| 募集内容 | 日立物流の安全運行管理ソリューション SSCV-Safety から得られる、車両の位置情報、加速度情報、ドライバーのバイタルデータ、ヒヤリハットに関するデータ・映像を活用したアプリケーション、Web サービスなどの作品を募集します。 |
| 審査方法 | 以下の審査員による審査会を実施します。 審査員長 坂村 健（東洋大学情報連携学部 INIAD 学部長、 YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所長） 審査員 浦川 竜哉（大和ハウス工業株式会社 取締役執行役員 建築事業本部長） 佐藤 清輝（株式会社日立物流 執行役専務 営業統括本部長） 秋葉 淳一（株式会社フレームワークス 代表取締役社長 CEO） 加藤 篤史（羽田みらい開発株式会社 SPC 統括責任者、 鹿島建設株式会社 開発事業本部 事業部長） |
| 表彰内容 | 賞金総額 500 万円 最優秀賞 200 万円 優秀賞 50 万円×4 本 ほか、特別賞を設けます（特別賞の本数は審査会で決定します） |

| | |
|--------------|--|
| 公開するデータ | <p>(1) 車両の位置情報 定期的を取得した車両の位置情報です。日時および速度、走行距離が含まれます。</p> <p>(2) 加速度情報 定期的を取得した車両の加速度情報です。日時、前後左右上下の加速度が含まれます。</p> <p>(3) ドライバーのバイタルデータ ① 出発前後に計測したバイタルデータ 測定日時、体温、血中酸素濃度、血圧（最高血圧・最低血圧）、自律神経機能値、およびこれらから分析した疲労度と注意レベルが含まれます。 ② 運転中に取得したバイタルデータ 取得日時および取得したバイタルデータから分析した疲労度と注意レベルが含まれます。</p> <p>(4) ヒヤリハット発生イベントデータ ヒヤリハットが発生した時点で取得したデータです。 イベントの種別、日時、位置情報が含まれます。</p> <p>(5) ヒヤリハット発生時の映像 ヒヤリハットが発生した時点の、ドライブレコーダーによる映像です。 個人を特定できないように加工しています。</p> <p>※ SSCV-Safety 特設サイト https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/sscv/safety/</p> |
| 応募資格 | <p>(1) 本コンテストの応募規約に同意いただいた方。</p> <p>(2) 個人、グループ、法人は問いません。</p> <p>(3) 国籍、居住地の制限はありません。</p> <p>(4) 年齢制限はありませんが、未成年の方が応募する場合は保護者の同意が必要です。</p> <p>(5) ひとりの応募者（グループ、法人を含む）で、複数の作品応募が可能です。また、応募者は複数のグループに所属することが可能です。</p> |
| 応募条件 応募方法 | <p>応募条件・応募方法等の詳細は追って本コンテストの専用サイトで告知します。 コンテスト専用サイト https://daiwa-open-challenge.jp</p> |
| 主催等 | <p>主催 大和ハウス工業株式会社 共催 YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所 特別協力 株式会社日立物流、株式会社フレームワークス、羽田みらい開発株式会社 協力 INIAD cHUB（東洋大学 情報連携学学術実業連携機構）</p> |

本コンテストで公開するデータの詳細や、輸送業界が直面しているさまざまな課題、コンテストの趣旨への理解を深めていただくためのシンポジウムを、12月9日（金）にTRON（トロン）シンポジウム「2022 TRON Symposium -TRONSHOW-」の会場（東京ミッドタウン）で開催します。

2022 TRON Symposium -TRONSHOW- の詳細はこちら <https://www.tronshow.org/>

【コンテストに関する一般の方からのお問い合わせ先】

大和ハウス工業 スマートロジスティクス オープンデータチャレンジ事務局

（YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所内） support@daiwa-open-challenge.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

大和ハウス工業株式会社

広報企画部 東京広報グループ 03-5214-2112

株式会社日立物流

広報部 03-6263-2803 / koho@hitachitransport.com

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所

柏信之、山田浩之 03-5437-2270 / press@ubin.jp

【各社概要】

大和ハウス工業株式会社について

[\(https://www.daiwahouse.co.jp/\)](https://www.daiwahouse.co.jp/)

1995年、「建築の工業化」を企業理念に創業して以来、弊社は一貫して“多くの人の役に立ち、喜んでいただける商品開発やサービスの提供”に努め、世の中に必要とされる企業であることをすべての起点としてきました。これまで戸建て住宅をコア事業に、賃貸住宅、分譲マンション、商業施設、事業施設（物流施設、医療・介護施設等）など幅広い事業領域で活動しております。

株式会社日立物流について

[\(https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/\)](https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/)

3PL、重量機工、フォワーディングをコアに、グローバルに事業を展開する総合物流企業です。輸送デジタルプラットフォーム SSCV の開発を通じて、輸送事業者が抱える課題の解決と事業成長を支援し、社会インフラとしての物流の発展に貢献します。

YRP ユビキタス・ネットワークング研究所について

[\(https://www2.ubin.jp/\)](https://www2.ubin.jp/)

身の回りのあらゆるモノに、通信能力を有するマイクロコンピュータやセンサー、アクチュエータ等が埋め込まれ、それらが相互に情報交換を行いながら協調動作し、人間生活をより高度にサポートする、ユビキタス・コンピューティング、ならびにモノのインターネットと称される Internet of Things の技術に関する研究開発を推進しています。